

決議

リニア中央新幹線は、その開業により、東京・名古屋・大阪間の時間距離が大幅に短縮され、一つの都市圏として世界に類を見ない魅力的な経済集積圏となる日本中央回廊の形成が期待されている。また、東京・大阪間の二重系化による災害に強い交通ネットワークの形成に不可欠であり、加えて地球環境保全の面でも優れた特性を持つ大量高速輸送機関として期待されている。

当地域にとって、高い国際競争力を有するモノづくり産業を中心に、今後様々な分野で更なる発展を目指すために、極めて重要な基盤となるものであり、これを最大限に生かす交通ネットワークの整備が必要である。なかでも、中部圏の中心となる名古屋駅において、他の交通機関との乗換や中部国際空港へのアクセス等の利便性向上など、交通結節機能を一層強化していくための「名古屋駅のスーパーターミナル化」に向けた整備は、日本中央回廊の形成によりもたらされる効果を広域的に拡大させるために不可欠なものである。

愛知県内におけるリニア中央新幹線建設事業については、名古屋駅の新設工事を始め全線で建設工事が本格的に進められており、名城工区では本年4月に調査掘進を終え、坂下西工区では本年6月より本掘進が開始されている。

早期整備に向けては、東海旅客鉄道株式会社において、安全と環境保全、地域との連携を重視して着実に工事が進められるとともに、関係者が一体となって推進していく必要がある。

よって、我々は、リニア中央新幹線の早期全線整備に向けて、次の事項について一致団結して強力な運動を展開する。

1 東京・名古屋間については、工事実施計画に基づき着実に事業を進め、早期整備を図ること。特に、静岡工区については、水資源・自然環境への影響の回避・低減とリニア中央新幹線の早期実現を両立させる観点から、有識者会議で取りまとめられた報告書を踏まえ、関係自治体等の理解を得ながら早期着手を図り、そのうえで開業時期を示すこと。

事業の実施に当たっては、工事の安全と環境の保全に万全を期し、速やかで丁寧な説明と適切な情報提供などを行い、地域の理解を得ながら進めるとともに、地域の事業者を活用するなど地域の活性化に資するよう努めること。

2 リニア中央新幹線名古屋駅の整備に当たっては、乗換利便性の向上や、駅函体上部空間の有効活用等について地域の意向を十分尊重すること。

また、駅前広場の再整備や名鉄名古屋駅地区再開発等により、公共交通機関相互の乗換利便性の向上を図る「名古屋駅のスーパーターミナル化」について、地域一丸となって推進しているところであり、国がこれを強力に支援すること。

3 リニア中央新幹線の開業効果を高めるため、交通ネットワークの充実・強化や東海道新幹線の利便性向上、駅周辺のまちづくり事業に関する地域の取組を積極的に支援・協力すること。

以上決議する。

2025（令和7）年8月20日

リニア中央新幹線建設促進愛知県期成同盟会